

九州新幹線（西九州ルート）の開業のあり方に関する
合意について

平成 28 年 3 月 29 日、九州新幹線（西九州ルート）の開業のあり方に関する協議が行われ、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線（西九州ルート）検討委員会」の山本幸三委員長から示された「とりまとめ案」について、関係六者（山本委員長、佐賀県知事、長崎県知事、JR 九州社長、鉄道・運輸機構理事長、国土交通省鉄道局長）において、開業のあり方に関して合意に至りましたのでその内容についてお知らせします。

【合意の概要】

1. 平成 34 年度に武雄温泉駅において在来線特急と新幹線を乗り換える対面乗換方式により開業する。また、フリーゲージトレインの先行車を博多～武雄温泉間を在来線、武雄温泉～長崎間を新幹線で走らせることにより活用する。
2. 対面乗換方式とするために必要となる施設（約 70 億円）については、新幹線スキームで整備する。また、長崎本線肥前山口～諫早間の上下分離時点において、JR 九州は佐賀県及び長崎県に鉄道施設を無償で譲渡する。
3. 長崎本線肥前山口～諫早間については、平成 34 年度の開業時に上下分離し、JR 九州は開業から 3 年間は一定水準（特急列車：博多～肥前鹿島間で上下 14 本程度、普通列車：現行水準を維持）の列車運行のサービスレベルを維持するとともに、開業後 23 年間運行を維持する。
4. 新鳥栖及び武雄温泉のアプローチは秋頃を目途に開催される軌間可変技術評価委員会の結果を待って、整備に着手する。新鳥栖アプローチはフリーゲージトレイン量産車導入時、武雄温泉アプローチは先行車導入時に使用可能となるよう整備する。
5. 肥前山口～武雄温泉間の複線化工事は新幹線スキームにより段階的に実施し、平成 34 年度の開業後、順次、全線複線化を実施する。